



2019年  
9月10日  
No. 894



# あの日のオルガン

あの日のオルガンが8月18日、日曜日に上映されました。場所は田川青少年文化ホールで主催団体は、9条の会・田川21女性会議・田川女のフォーラム・田川映画愛

入れ先はポロポロの荒れ寺でした。地元の人から手伝ってもらつてようやく住めるようになりまし。幼い子供達との生活は問題だらけでした。それでも保母達は子供達と向き合



母達は子供達と向き合、みつちやん先生の引くオルガンで皆で歌い元気をつけました。1945年3月10日米軍の爆撃機が東京を襲撃し、だんだんと疎開先にも戦争の影が

好会・日中友好協会田川支部・田川地区労センタ、平和憲法をいかす会、の7団体です。太平洋戦争の末期53人の幼い子供達の命を守つた保母達の実話です。

保育所の主任保母は、園児達を空襲から守る為に、親元から遠く離れた、疎開地を探しました。最初は反発していた親たちも子供だけでも生き延びてほしいと言う一心で保母達に我が子を託しまし

た。ようやく見つけた受け

執行委員 後藤桂子

参議院選挙のスローガンを紹介します。明日の暮らしに希望を

持てる政治へ、消費税10%ストッパー・大軍拡9条改憲NO!原発ゼロ・希望と安心・国民に優しい社会を国民みんなでつくるプラン・市民と野党の共闘の力を持つて強く・暮らしに希望を・3つの提案・家計を応援を!

①8時間働けば普通に暮らせる社会を賃上げと労働時間の短縮で最賃を全国一律1000円にして1、500円を目指す、中小企業には社会保険料負担減免で応援します。

②暮らしを支える社会保険を、国保料の抜本的引き下げを介護保険料の引き下げと減らない年金、低年金者に年6万円上乗せを子供の医療費無料化をと訴えま

## 参議院選挙について

③お金の心配なく、学び、子育てが出来る社会を、全学生の授業料半減、段階的無料化給付奨学金70万人、幼児教育・保育の無償化を消費税に頼らず実施をと安倍自公政権の下で日本の民主主義

執行委員 後藤桂子





# 組合員全員集会を開催

2019年9月4日、2月（70周年）

田川支部全員集会を開催、中央は1999年9月

20人の仲間が参加しま

した。委員長が次のよう

なお話をしました。

1、参議院選闘争の9月23日建交労となる。

結果とお礼。2019年（19年）

光と闇のツートン、光

は①改憲勢力「3分の2」

未達、②自民党の選挙前

10議席減、③「1人区」

での野党共闘10議席確

保。闇要因は超低投票率。

つまり光要因3対闇要因

1です。

光トーンの方が断然力

強い。だが、低投票率は

民主主義を破壊する。油

断の余地はない（全国革

新懇ニュース、同志社大

学院教浜矩子さん）

2、安倍9条改憲派絶

対阻止を第89回大会以

後も100筆目標達成。

（2009年10月坂倉

死去73歳）

3、組合創立70周年

を迎えます。

1950（S25）年2

月成道寺公園で全日自労

結成。

2019（R元）をへ

2020（R2）年

Bのお世話、相談活動。

（2）働きたい高齢者・

失業者・働きたい生活

困難者の仕事確保の闘い

と事業団活動にとりくむ。

（3）未組織の仲間の組

織化の取り組み。

5、たた 高齢者・失業者・働きた

かいの経過 高い生活困窮者のために、

（1）かけ 国や自治体に向けて仕事

こみ寺活動、保障の闘いを続け、独自

地域の0 に事業団の運営をしてき

ました。

2、組合の専従体制が

取れなくなりましたので、

これまで通りに事業団活

動への援助も手薄になり

ます（これまでの事業団

事務局体制の沿革概要は

別紙参照）

3、事業団活動は。

6、組合の現状

来期（10月）から専

従体制をとれる状況では

なくなっています。（組

織拡大が進まなかった。

組合費も半額しか集めて

こなかった。積立金の枯

渇など）

7、組合の目的と課題

「失業と貧乏と戦争に

反対」が原点ですが、今

その失業と貧乏と戦争が

なくなっているか、憲法

にもとづいた人間らしい、

暮らし仕事の保障を求め

て闘ってきたが一層危険

と不安は増大して依然と

してその原点の課題は残っ

ています。

これまでの組合の闘い

の方向や内容は大きな間

違いは無かったのではな

いでしょうか、特に最近

の高齢者をめぐる状況や、

失業者、生活困窮者の状

況は組合の闘いの強化が

求められています。（高

齢社会白書を読む参照）

（5）ただし、事業団は

もうけを目的にしてない

が事務局の確保など、赤

字にはならない健全な運

営が必要です。

4、現状と課題

（1）2019年度の運

営状況（別紙参照）

（2）人材確保の緊急性。

執行委員長 赤瀬重則

事業団について

1、この間、組合では

（次号につづき掲載）



ソーシャルサービスで働く仲間